



Monthly Pediatrics News Letter

第80号

令和5年12月

発行：産業医科大学小児科学教室

作成者：保科隆之（小児科通信係）

<はじめに>

産業医科大学小児科医局員、小児科入局を表明している初期研修医・学生の皆さん、日ごろの業務および勉強ご苦労様です。

早いものでもう12月です。皆さんにとって今年は良い年でしたか？産業医大小児科は、3月に楠原教授が退職されるという大きな出来事がありましたが、幸いなことに大きな問題は起こらず年末を迎えようとしています。なかなか忙しく、余裕がないかもしれませんが、皆さんも今年を振り返りつつ、来年の目標を立ててみるのも良いかもしれませんね。

毎月配信しております小児科通信をお送りします。今回も大学で行われたイベントや学会参加予定などをお知らせします。小児科入局を表明していただいた学生の皆さんと当教室に興味を持っていただき見学に来られた学生さんと先生にもお送りしております。提供する情報に興味を持っていただけると嬉しいです。

通信を読んだ感想やご意見・ご要望を小児科通信制作責任者 (hoshina@med.uoeh-u.ac.jp) までお寄せください。今後の参考にさせていただきます。

<11月の医局行事>

11月11、12日 第18回アジア小児科学会学術集会（ASPR）

東京大学小児科の主催で開催されました。今回はWEB開催でしたので、現地での発表はなく、一般演題は事前収録されたものを学会期間中に流すという形式でした。当教室からは、守田弘美先生、白山理恵先生、川村卓先生、柴原淳平先生、大濱尚先生が発表されました。皆さん、英語でしっかり発表されていました。次回は現地開催されるはずですので（それもおそらく海外）、また演題を出してもらって、海外の学会の雰囲気を味わってみたいと思います。

11月13日 産業医科大学小児科クリニカルカンファレンス

担当は、内分泌・代謝グループでした。齋藤先生、桑村先生、多久葵先生、池上先生が「成長ホルモン適応疾患 ～最新の話～」という発表を行いました。

11月25-26日 第76回九州小児科学会・大学対抗親睦野球大会（長崎市）

先月の通信に掲載しましたが、学会と併せて4年ぶりに九州・沖縄地区にある大学の小児科医局対抗野球大会が開催されました。今回は、来年4

月から当教室のプログラムで後期研修を開始する予定の宮地先生も選手として参加してくれました。前日に決起集会が行われ、チームワークではどこの医局にも負けない状態で試合に臨まれました。結果は、グループリーグ 1 試合目に九州大学と対戦し、5 対 6 で惜しくも敗れましたが、2 試合目は熊本大学と対戦し、6 対 2 で見事勝利しました。残念ながらグループリーグ突破とはいきませんでした。同日に他の全国学会があり、交代が許されない状況の中、大きなトラブルはなかったようです。なお、学会では菅先生が発表されました。参加した皆さんはお疲れ様でした。来年度は熊本で開催される予定です。



11 月 25 日 産業医科大学小児科セミナー

昨年度に学位を取得された塩田直樹先生と千手絢子先生に学位論文の内容を中心にお話ししていただきました。塩田先生は長く産業医を務められており、その中で行われた「日本の労働者における COVID-19 の流行による働き方の変化と精神的苦痛の関連」という研究が、**Industrial Health** 誌に掲載されました。千手先生は、長い間エコチル調査に関わられ、その中で「生後 6 か月時に腹臥位で胸部を挙上できない児の発達に関する検討」という研究が、**Pediatrics International** 誌に掲載されました。お二人ともすばらしい研究を発表されたと感じました。お二人のさらなる活躍を期待しています。

<12 月の医局行事予定>

12 月 1 日 令和 5 年度産業医科大学小児科忘年会

コロナ禍で開催できなかった忘年会を今年は開催します。

会場はアートクレフクラブです。3年間開催されなかったうっ憤を晴らすかのように、出し物を自主的に披露してくれるグループがいるようで大変楽しみです。この小児科通信を読んでくれている先生、学生の皆さんの参加をお待ちしています。

12月2-3日 第37回日本小児脂質研究会

山本 幸代 先生が会長を務められる全国規模の研究会が、産業医科大学ラマツィーニホールで開催されます。全国から専門の先生が来られて講演されますので、とても勉強になると思います。医局員および学生の皆さんは無料で参加できますので、ぜひ参加してください。

**第37回
日本小児脂質研究会**
経験とエビデンスを結集した小児脂質の研究と臨床

会長 **山本 幸代**
(産業医科大学医学部 医学教育担当教員)

2023年12月2日(土)3日(日)

会場 産業医科大学ラマツィーニホール

演題募集期間
2023年7月3日(月)~8月18日(金)

協賛：北九州市、(公財)北九州観光コンベンション協会

12月8日 18時～ 令和5年のまとめ

毎年12月に行われる1年間を総括する会です。この1年間に各診療グループが経験した貴重な症例の提示、掲載された論文や現在進行中の研究の進捗状況などを報告してもらいます。

12月10日 第523回日本小児科学会福岡地方会

12月の地方会は九州大学医学部百年講堂とWebのハイブリッド開催です。産業医大からは、重田先生と小児外科の江角先生が発表します。

12月11日 19時～ 産業医科大学小児科クリニカルカンファレンス

演題名：秋から初冬はネコひっかき病にご用心！

—多彩な疾患を発症するバルトネラ感染症—

演者 保科 隆之、川村 卓、山口 定信

場所 産業医科大学大学2号館2階 2208教室

12月のクリニカルカンファレンスは感染症・免疫グループの担当です。

12月12日 6年生入局祝いの会

今年度卒業見込みの医学部6年生の中で小児科に入局してくれた7名をお祝いする会を開催します。少子化が叫ばれる中、多くの方が入局してくれてとても嬉しく思います。6年生を祝福したい、会って話してみたいと感じている先生はぜひ参加してください。

8日と11日のカンファレンスは会場とZoomを使ったWeb配信のハイブリッド開催です。遠方からも聴講できますので、興味のある方は医局まで連絡してください。視聴方法をお知らせします。

<12・1月開催予定の学会・研究会>

12月および1月上旬に医局員が参加する予定の学会・研究会をお知らせします。新型コロナウイルス流行の影響で、多くの学会・研究会がWeb開催または現地とWebのハイブリッド開催でしたが、現地開催のみとなった学会も増えてきました。

12月1-3日 World Allergy Congress 2023

(バンコク・Centara Grand and Bangkok Convention Centre at Central World)

発表予定者：田中

12月2-3日 第37回日本小児脂質研究会

(北九州・産業医科大学ラマツィーニホール + Web)

参加者：山本、石井（発表予定）、齋藤、斉宮（発表予定）

桑村（発表予定）、池上、多久葵、島本

12月9日 第523回日本小児科学会福岡地方会（福岡・九大百年講堂 + Web）

発表予定者：重田、江角先生（小児外科）

上記に興味があり、参加を希望される方および詳細を聞きたい方は、小児科医局に電話（093-691-7254）をいただくか、メール（hoshina@med.uoeh-u.ac.jp）をお送りください。

<論文掲載情報>

当科医局員が筆頭著者もしくは共著者として名前の入っている論文の掲載情報です（10・11月掲載分）。小児科専門医取得のためには、自身が筆頭著者である論文が必要になります。当教室では、修練医にも積極的に論文作成に携わってもらい、専門医試験の受験資格をクリアできるよう指導しています。また、できるだけ英文雑誌への投稿を勧めて

います (PubMed に自分の名前が出てくると嬉しいですよ)。このことは、市中の総合病院ではなかなかできない利点だと思います。論文を作成することで、より理論的な考え方ができるようになります。診療の視点を広げるためにも、論文作成に積極的に取り組みましょう。

1. Ichikawa S, Araki S, Shimizu D, Kusuhara K, Shirahata A, Ochiai M, Ibara S. A survey of the current status of neonatal disseminated intravascular coagulation in neonatal intensive care units in Kyushu, Japan. *Pediatr Neonatol* 2023, in press.

2. Hirakawa J, Kawamura M, Hoshina T, Taniguchi M, Kondo H, Satake H, Nawata A, Tsuneoka H, Kusuhara K. A pediatric case of disseminated *Bartonella henselae* infection accompanied by multiple intracranial lesions. *Pediatr Infect Dis J* 2023, in press.

3. 白山理恵、柏原やすみ. 九州沖縄ブロックの血友病診療連携の取り組み～血友病性関節症における整形外科との連携拡充～ *血栓止血会誌* 2023, in press.

4. 米田 哲、神菌淳司. 百日咳. *小児救急標準テキスト basic 編*. 中外医学社. P240-241.

5. 米田 哲、神菌淳司. 結核. *小児救急標準テキスト basic 編*. 中外医学社. P242-243.

<おわりに>

小児科通信第 80 号はいかがでしたか。掲載した情報が皆さんの役に立てば嬉しいです。

11 月上旬に次年度から後期研修を始める医師の応募が行われ、当教室の後期研修プログラムに 2 人の先生が応募してくれました。もちろん 2 人とも採用させていただきましたので、来年度から我々の教室に新たに 2 人の仲間が加わってくれることになりました。とても嬉しいことです。入局してくれた先生方が小児科のプロフェッショナルになれるよう、教室としてしっかりサポートさせていただきます。4 月から 2 人の先生と一緒に働けることがとても楽しみです。

これまでの通信にも記載しましたが、最終的にはこの通信を読んでいる学生と初期研修医の皆さんが大学の医局に所属し、一緒に働けることが上級医の望みです。また、すでに小児科医として働いている皆さんが、日常診療や学会参加を通じてより一層レベルアップされることを願っています。

クリスマス、お正月とこれからいろいろな行事が目白押しです。6 年生の皆さんやこの小児科通信を配信している先生方は忙しくてそれどころではないかもしれませんが、いつ

も記載しているように気分転換は重要です。羽目を外しすぎない程度に様々なイベントを楽しんでください。

文責：保科 隆之（小児科通信制作係）